

2008 年 IEEE Kansai Section  
総会資料

2008 年 2 月 28 日  
IEEE Kansai Section



## 総会資料目次

<b>Program</b>	.....	<b>p.1</b>
I. 2007 年関西支部活動報告	.....	<b>p.3</b>
II. 2007 年関西支部会計報告	.....	<b>p.13</b>
III. 関西支部会員数	.....	<b>p.14</b>
IV. 2008 年関西支部役員・理事	.....	<b>p.16</b>
V. 2008 年 Kansai Chapter 役員	.....	<b>p.19</b>
VI. 2008 年関西支部活動計画	.....	<b>p.21</b>
VII. 2008 年関西支部予算	.....	<b>p.27</b>
VIII. 関西支部 Bylaws	.....	<b>p.28</b>
添付資料（技術講演会企画実施要領）	.....	<b>p.31</b>

## 2008年IEEE Kansai Section総会

1. 日時： 2008年2月28日（木）15時00分～17時30分
2. 場所： 京大会館 1階 101号室  
606-8305 京都市左京区吉田河原町 15-9
3. 総会スケジュール
  1. 支部長挨拶
  2. 役員・理事紹介
  3. 2007年活動報告および会計報告
  4. 2008年事業計画および予算案承認
  5. Chapter役員および活動紹介
  6. IEEE Kansai Section GOLD Award 授賞式
  7. IEEE Kansai Section 学生研究奨励賞授賞式
  8. IEEE Kansai Section メダル授賞式  
<休憩>
  9. IEEE Kansai Section 新 Fellow 紹介及びスピーチ
  10. 閉会の挨拶

### IEEE Kansai Section GOLD Award受賞者

計2名（アルファベット順、敬称略）

日向 文彦	(京都大学)
土屋 達弘	(大阪大学)

### IEEE Kansai Section学生研究奨励賞受賞者

計13名（受付順、敬称略）

劉 泳眞	(京都大学)
翠 輝久	(京都大学)
登尾 正人	(京都大学)
関本 昌紘	(立命館大学)
Fawnizu Azmadi Hussin	(奈良先端科学技術大学院大学)
渡邊 賢治	(大阪大学)
森田 泰弘	(神戸大学)
新開 健一	(大阪大学)
菅野 裕揮	(京都大学)
泉 泰介	(大阪大学)
廣本 正之	(京都大学)
横矢 龍之介	(京都大学)
亀井 靖高	(奈良先端科学技術大学院大学)

## IEEE Kansai Section メダル受賞者

計 8 名 (アルファベット順、敬称略)

馬場口 登	(大阪大学)
松浦 秀治	(大阪電気通信大学)
永田 真	(神戸大学)
中村 篤	(日本電信電話)
太田 快人	(京都大学)
太田 有三	(神戸大学)
尾上 孝雄	(大阪大学)
山本 和也	(三菱電機)

## IEEE Kansai Section 新Fellow氏名

計 3 名 (アルファベット順、敬称略)

浜田 弘喜	(三洋電機)
野田 進	(京都大学)
上田 大助	(松下電器産業)

## I 2007年 活動報告

### 1. 総会

2007年2月6日(火)に京大会館210号室において、2007年総会を開催した。Gold Award授賞式、学生研究奨励賞授賞式、2007年新Fellow4名(Fellow昇格者は計5名)による記念講演等を実施した。参加者：56名

### 2. 理事会

第1回理事会 1月19日 ぱるるプラザ京都 出席者：8名

- ・ 2007年総会について
- ・ 2006会計報告について
- ・ 新Chapter設立について

第2回理事会 2月6日 京大会館 出席者：12名

- ・ 2007年総会について
- ・ 新Chapter設立について

第3回理事会 5月19日 京大会館 出席者：8名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ Region 10 Meeting 2007 参加報告
- ・ Kansai Section MDC/SAC Joint Meeting 報告

第4回理事会 9月11日 キャンパスプラザ京都 出席者：10名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ 関西支部メダル施策について
- ・ 関西支部 Gold Award について
- ・ 関西支部学生研究奨励賞について
- ・ 各 Committee 活動状況報告
- ・ 2007年会計中間報告
- ・ IEEE Milestones 贈呈式について

第5回理事会 12月18日 京都大学吉田泉殿 出席者：9名

- ・ Japan Council 理事会報告
- ・ 2007活動報告/2008活動計画について
- ・ Gold Award の審査について
- ・ 学生研究奨励賞の審査について
- ・ 関西支部メダルの授与について
- ・ 2008新Fellowの報告について
- ・ 2009年Fellow候補の推薦について

### 3. 技術講演会

Technical Program Committeeの企画により以下の関西支部主催講演会を実施した。

#### ・ 関西支部主催第41回技術講演会

日時：2007年1月26日(金) 13:00~15:30 (参加者26名)

場所：兵庫県立大学大学院

題目：最近の知財の動向と注目判例

講演者：阪口 眞一 教授 (大分大学客員)

#### ・ 関西支部主催第42回技術講演会

日時：2007年4月13日(金) 14:00~15:30 (参加者20名)

場所：兵庫県立大学大学院

題目：Pocket Computers-the history of wonderful product design

講演者：Mr. Roland John Saam (IEEE Region 8 News Editor)

- ・ 関西支部主催第 43 回技術講演会  
 日時：2007 年 6 月 28 日（木） 16:00～17:30 （参加者 29 名）  
 場所：兵庫県立大学大学院  
 題目：An Industrial Perspective on Fourteen Fundamental Challenges of Enterprise Integration  
 講演者：Dr. Timothy M. KING （Executive Consultant, LSC Group (UK) ）
- ・ 関西支部主催第 44 回技術講演会  
 日時：2007 年 11 月 27 日（火） 15:00～18:00 （参加者 61 名）  
 場所：中央電気倶楽部  
 題目：IEEE Milestones 賞受賞記念講演会  
 講演者：Dr. Richard Gowen （IEEE History Committee Chair）  
           白川 功 教授（兵庫県立大学大学院）  
           井上和夫 氏（元近畿日本鉄道（株）副社長）  
           田中寿雄 氏（元オムロン（株））
- ・ 関西支部主催第 45 回技術講演会  
 日時：2007 年 12 月 20 日（木） 13:00～13:50 （参加者 120 名）  
 場所：NTT 京阪奈ビル  
 題目：新しい音声メディアによるユニバーサルコミュニケーション  
 講演者：鹿野 清宏 教授（奈良先端科学技術大学院大学, IEEE フェロー）

#### 4. IEEE Milestones

IEEE 関西支部から推薦していた「鉄道自動改札」（大阪大学、近畿日本鉄道（株）、オムロン（株）、阪急電鉄（株））が世界に先駆けて実用化されたことが評価され、IEEE Milestones in Electrical Engineering and Computing に認定され、2007 年 11 月 27 日に IEEE 本部より History Committee Chair の Dr. Gowen をお招きして贈呈式が行われた。また、これを記念して関西支部主催で講演会が 61 名の参加を得て開催された。

##### 【贈呈式】

日時：2007 年 11 月 27 日（日） 11:45～13:30  
 場所：シェラトン都ホテル大阪 大和の間

##### 【記念講演会】

（概要は、3 の関西支部主催第 44 回技術講演会の項を参照）

#### 5. 各Committee活動

##### a. Membership Development Committee

本年度も Senior Member への Upgrade を推進することで、会員に各機関での IEEE 活動を広く周知し、それによって新会員を増やすことを最重点に活動を行った。また、新たな取り組みとして、MDC 委員会に参加する機関を増やす取り組みを行った。結果として、

- (1) 11 月 27 日現在、既に会員数は 2084 名となった。すでに、昨年度末の会員数 2043 名を越え、本年度末にはさらに増える見込みである。
- (2) 新たに 5 機関（ルネサステクノロジ、村田製作所、京セラ、ローム、ATR）

から MDC 委員会に参加いただいた。

- (3) 昨年と同様に Student Activity Committee との連携を強めて学生会員の増強をはかった。
- (4) 新 Senior Member へ授与する「関西支部メダル」の周知に努め、Members に Senior Member への Upgrade を各委員を通じて推奨した。支部のホームページ内でも FAQ の Upgrade 申請を支援する項目を通じ、広く周知させた。その結果、11月27日現在、8名が新 Senior Member になった。

#### b. Nominations Committee

- (1) 昨年と同様に、支部役員の方々と連携をとり、Senior Member の拡大をはじめとする、正会員や学生会員の拡大活動を行った。
- (2) 2009 年 Fellow Nomination に関して、昨年同様の手続き、すなわち、関西支部内の現 Fellow に対し、新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部からの推薦者を決定することとした。回答期限を 12 月 20 日(木)として推薦を受け付けた。依頼した Fellow 有資格者は 68 名 (E-mail アドレスの判明している方々)。この結果 6 名の候補者の推薦があった。この方々に手続き情報をお送りし、関西支部からの Fellow 推薦準備を開始している。
- (3) 関西支部会員の中から支部推薦 9 名のうち 5 名が 2007 年 1 月 1 日付けで新 Fellow に昇格した。小田中紳二(大阪大学)、三瓶政一(大阪大学)、酒井英昭(京都大学)、鹿野清宏(奈良先端科学技術大学院大学)、杉江俊治(京都大学)の各氏である。

#### c. Student Activities Committee

SAC 委員会では、昨年に引き続き、学生会員の増強、学生会員の活動支援、等の活動を行ってきた。

- (1) これまでに創設された 4 大学 (大阪大学、京都大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学) の Student Branch を中心に、学生会員の増強、学生会員の活動支援、対外活動、Student Branch 間の情報交換の促進、等の活動を行った。また、新たに兵庫県立大学の Student Branch 設立申請を行った。
- (2) Student Branch による自主的な活動としては、これまで毎冬 4 大学の合同で関西 Section 学生支部交流会を企画、開催してきている。本年は 1 月 13 日に立命館大学で開催(昨冬分)し、4 大学に加え名古屋大学からの参加者を得た。また、12 月 16 日に京都大学にて交流会を開催し、4 大学と学生支部設立予定の兵庫県立大学から合計 17 名の参加を得た。従来の交流会に加え、CROBOTS アルゴリズムの実装などを行った。立命館大学 IEEE Student Branch では、一昨年から開催している English Presentation Competition を今年も 10 月 5 日に開催し、優秀発表者に IEEE 関西支部 Student Activities Committee から表彰状を授与した。
- (3) 10 月 22 日に京都大学において IEEE 学生ブランチリーダーシップトレーニングワークショップを開催した。Japan Council の企画であるが、関西地区では 2000 年に大阪大学以来 7 年ぶりの開催であった。17 大学から



38名の参加があり関西支部からは4大学 Student Branch ならびに兵庫県立大学から14名が参加した。

(4)Membership Development Committee と Student Activities Committee と合同で委員会を開催(4月、12月)、連携して会員の増強、活動支援、等の活動を行った。

(5)Award Committee と連携して IEEE 関西支部学生研究奨励賞を企画し、審査を行った。

d. Technical Program Committee

	日付	場所	講演者	参加者数 (IEEE 会員参加者)	共催・協賛組織名
第41回	2007年 1月26日	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科	阪口 真一 様 (弁理士、大分大学客員教授、 (財)九州システム情報研究所知的 財産活用アドバイザー)	26(4)	兵庫県立大学
第42回	2007年 4月13日	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科	Mr. Roland John Saam (IEEE Region 8 News Editor)	20(9)	兵庫県立大学
第43回	2007年 6月28日	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科	Dr. Timothy M. King (Executive Consultant, LSC Group(UK))	29(5)	兵庫県立大学
第44回	2007年 11月27日	中央電気倶楽部	Dr. Richard Gowen (History Committee Chair, IEEE Life Fellow) 白川 功 様 (兵庫県立大学大学院教授) 井上和夫 様 (元近畿日本鉄道(株)副社長) 田中 寿雄 様 (元オムロン(株))	61(27)	※1
第45回	2007年 12月20日	NTT 京阪奈ビル (NTT コミュニケーション科 学基礎研究所)	鹿野 清宏 様 (奈良先端科学技術大学院大学教授)	120(40)	※2

備考)

※1 : (後援) 近畿経済産業局  
(協賛) 電気学会関西支部, 電子情報通信学会関西支部, 情報処理学会関西支部,  
映像情報メディア学会関西支部, 照明学会関西支部

※2 : (共催) 音声言語シンポジウム  
(情報処理学会 音声言語情報処理研究会(SLP) ,  
電子情報通信学会 言語理解とコミュニケーション研究会(NLC)  
電子情報通信学会・日本音響学会 音声研究会(SP))  
(協賛) 人工知能学会 言語・音声理解と対話処理研究会(SLUD)

e. Awards Committee

2006年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。ニューズレターおよび関西支部インターネットを通じての公募を行い、当委員会において受賞候補者の選定を行い、受賞者を支部理事会で決定した。なお、今回もGOLD Award の表彰盾はJapan Council の Section支援費よりご支援を頂き、作成を行った。

また、「IEEE関西支部学生研究奨励賞」の審査を、今年度も継続してSACと合同で審査委員会を設立して行った。本賞は、今回もJapan CouncilのSection支援費より、賞状作成費ならびに副賞のご支援を頂いた。

GOLD賞ならびに関西支部研究奨励賞については2008年2月の支部総会において授与する予定である。

f. Chapter Operations Committee

2006年度の関西支部理事会において、100名以上の会員をもつソサイエティについては是非Chapterを設立頂きたい、また50名以上の会員をもつソサイエティについては実現可能であればChapterを設立頂きたい、という方向が決定した。この趣旨に則り、2006年にChapter Promotion Committeeを設立し、それ以後以下のように、6Chapter (2007年は2つ新設) が新設された。Electron Device, Solid-State Circuits, Circuits and Systemsの3つの既設Chapterとあわせ、関西支部は現時点で9つのChapterを擁している。

ソサイエティ	略称	設立時期
Antennas and Propagation	AP-03	2006年12月
Computer	C-16	2006年12月
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	2006年12月
Communications	COM-19	2006年12月
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	2007年4月
Signal Processing	SP-01	2007年12月

このように支部内のChapter数が多くなったことから、今年度からChapter Operations Committeeと名称変更し、その役割を新しいChapter設立支援のみならず、既設Chapterの活動支援も含むものとした。10月12日に第一回委員会を開催し、関西支部におけるChapter活動の紹介、Distinguished Lecturer制度の説明、新Chapter設立に向けた作業などの説明を行った。

## 6. Kansai Chapter 活動報告

a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

4月23-24日の二日間にわたってIEEE EDS 関西チャプター主催の電子デバイス国際会議である”2007 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (2007 IMFEDK)”を大阪大学中之島センターにて開催した。学生や若手研究者を中心に昨年度の参加者数を超える229名の参加を頂き、基調講演にD. Park氏 (Samsung Electronics)、和田一実先生 (東京大学)、菅原聡先生 (東京工業大学) を招き、招待講演6件、一般講演18件の口頭発表に加

えてポスターセッションも開催した。更に会議に先立って Tutorial 講演会と開催期間中会場ロビーにて企業展示会を行うなど盛大な会議となった。

また、技術講演会としてはすでに定例となった関西コロキウム電子デバイスワークショップを 10 月 19 日に関西大学 100 周年記念館にて開催した。当日はあいにくの天候であったが、4 2 名の関西在住の研究者の参加を頂き、国際レベルの研究成果を日本語にて発表し、活発な討論が行われた。

DL 講演を含む技術講演会については今年度 2 回開催し、1 月 26 日に大阪大学中之島センターにて 2006 IEDM 報告会を開催した。11 月 19 日には同じく大阪大学中之島センターにて、益一哉先生 (東工大) による DL 講演会 (題目: 最近の集積回路配線技術) を行い、最先端デバイス技術に関する技術交流の場を持つことができた。

この他、本年度開催された他機関主催の国際学会、研究会に協賛するとともに、EDS News Letter に活動成果を投稿し、1 月、4 月、7 月各号に記事を掲載された。

**b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter**

2007 年 6 月 12 日に京都で、2007 年 12 月 11 日に大阪で SSCS 技術講演会を主催した。6 月 12 日は Shekhar Borkar 氏 (インテル) と有本和民氏 (ルネサステクノロジ) の 2 名の講演者を招いて、「プロセッサ技術」に関する技術講演会を主催した。12 月 11 日は山内寛行教授 (福岡工業大学) と道正志郎氏 (松下電器産業) の 2 名の講演者を招いて、「先端プロセスの回路設計技術」に関する技術講演会を主催した。それぞれの技術講演会では最新技術情報を提供した。6 月 12 日の講演会では 58 名、12 月 11 日の講演会では 40 名の参加者を集めて活発な質疑応答が行われた。なお、技術講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

<http://www.ieee.se.ritsumei.ac.jp/sscs/>

この他、9 月に開催された VDEC デザイナーフォーラムに協賛、10 月に開催された第 7 回日本-台湾マイクロエレクトロニクス国際シンポジウムに協賛、11 月に北九州市で開催された第 11 回システム LSI ワークショップに協賛、12 月から 1 月にかけて開催される VDEC リフレッシュセミナーに協賛、この分野の技術者及び学生が多数集まるイベントに協賛することで、活動のアピールと会員獲得に努めた。

**c. CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter**

2007 年 7 月 25 日に大阪大学において、大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻と共催でサブスレッショルド LSI に関する技術講演会を開催した。北海道大学の廣瀬哲也先生にご講演いただき、大学、産業界から 36 名の参加者を得て、有益な技術・研究交流を行うことができた。2007 年 9 月 4 日にキャンパスプラザ京都で、プロセッサと VLSI 設計技術に関する講演会を、情報処理学会関西支部「VLSI システム研究会」共催で開催した。奈良先端科学技術大学院大学中島康彦先生、京都大学小野寺秀俊先生にご講演いただき、32 名の参加者を得て、質の高い講演と議論を行うことができた。2007 年 10 月 12 日に京都キャンパスプラザにおいて、高信頼 VLSI 設計技術

に関する技術講演会を開催した。米国ミシガン大学 Igor Markov 先生、九州工業大学梶原誠司先生にご講演いただき、27名の参加者を集めて活発な議論を行うことができた。最新技術動向に関する技術講演会の開催と、参加者の交流を通じて、活動のアピールと会員の獲得に努めた。

d. APS (Antennas and Propagation Society) Kansai Chapter

2006年11月に Chapter 設立に必要な Petition を IEEE 本部に提出し、12月5日に正式に設立が承認された。2007年2月17日に IEEE AP-S Kansai Chapter と MTT-S Kansai Chapter の設立合同総会を同志社大学今出川キャンパス寒梅館で行った。総会の後、木村磐根先生（京都大学名誉教授）による「自由空間／磁化プラズマ中の電磁波伝播特性の分かりやすい講義の試み」および石川容平氏（村田製作所）による「光・マイクロ波のエネルギーを集める」と題する記念講演会を開催した。当日の様子と講演内容は次の URL に掲載されている。

<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/chapter/aps/>

4月19日に電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会で IEEE AP-S 特別講演会を主催した。当日は笹岡秀一先生（同志社大学）に「電波伝搬特性を活用した情報理論的に安全な暗号符号」のご講演をいただき、44名の参加者を得て活発な議論を行うことができた。また、6月21日の同アンテナ・伝播研究会での IEEE AP-S Kansai Chapter, Nagoya Chapter 発足記念特別講演会において、本 Chapter の現状について報告した。

e. COMS (Communications Society) Kansai Chapter

2006年11月に Chapter 設立に必要な Petition を IEEE 本部に提出した。2006年12月に chapter の設立が承認されたとの連絡が、2007年2月1日に関西支部 Chapter Operations Committee よりあった。2007年3月14日に、関係者で2007年度活動計画等に関する打合せを行った。

f. CS (Computer Society) Kansai Chapter

本年 Computer Society Kansai Chapter を設立し、11月には HP を開設した。

URL <http://www.ieee-jp.org/section/kansai/chapter/cs/>

2007年9月20-21日の二日間にわたって、立命館大学びわこ草津キャンパスで開催された電子情報通信学会リコンフィギャラブルシステム研究会に協賛した。地方開催ながら、両日で延べ120名（IEEE 会員は55名）の方に参加を頂いた。2007年12月19日には、キャンパスプラザ京都で開催された電子情報通信学会コンピュータシステム研究会に協賛した。参加者は21名（内 IEEE 会員2名）であった。これらの分野の技術者及び学生が多数集まる研究会に協賛することで、活動のアピールと会員獲得に務めた。

また、Chapter 設立記念講演会（2008年1月28日：京都大学）にむけての準備を進めた。

g. MTTS (Microwave Theory and Techniques Society) Kansai Chapter

2007年は本 Chapter の活動の1年目の年であった。順調な立ち上げと活発な

活動を開始した。まず2月17日に設立記念総会を AP-S Kansai Chapter と合同で開催した。総勢 63 名の出席者を得て大盛況となった。この総会と同日に、村田製作所の石川容平氏を講師として技術講演会を行い、また同時に AP-S 主催の技術講演会を共催した。5月22日には龍谷大学の栗井郁雄教授を講師として「時間領域における共振器全パラメータの抽出」と題する技術講演会を開いた。また12月6日には、近年、マイクロ波分野のみならず光の分野や材料関連分野の研究者も巻き込んでその広がりを見せているトピックである「メタマテリアル」を採り上げてワークショップを開催し、Christophe Caloz 教授 (Ecole Polytechnique de Montreal)、ならびに真田篤志准教授(山口大学)を招いて技術講演を行うとともに、パネル討論を行った。このワークショップには関西以外から東京、岐阜、岡山などからの参加者を含めて 39 名が出席した。12月22日には「関西マイクロ波若手技術交流会」を開催した。これは企業入社後 10 年以内の若手技術者 4 名に、大学生・大学院生を対象として企業における研究の実態や魅力について講演していただき、また企業研究所といくつかの大学の研究室によるポスター発表を行って、大学生・大学院生と企業の若手とが交流する場を提供する全く新しい形式の技術交流会である。このような会が IEEE 入会の契機となることも狙いとしている。さらに 2007 Korea-Japan Microwave Conference および 2007 Asia-Pacific Microwave Conference の 2 つの国際学会で発表を行う予定の方を対象として「発表練習とアドバイスの会」をそれぞれ開催した。受講者は合わせて 6 名であった。これらの練習会をきっかけとして IEEE に入会した方が 4 名おり、本会が会員数増加に具体的に貢献した。

この他、2007 Korea-Japan Microwave Conference、IEEE MTT-S 2006 Microwave Career Award 受賞記念講演会を共催した。

Chapter が関西におけるマイクロ波分野の主要な企業、および大学との連携を強めておくことは、種々のイベントを企画・開催するなどの学会活動に大変有用であると考え、それらの機関からそれぞれ委員を募り「技術委員会 (Technical Committee)」を組織した。委員長は石崎俊雄氏(松下電器産業)であり、本 Chapter 役員の一員に加わった。前述の「関西マイクロ波若手技術交流会」はこの委員会が中心となって開催したものである。

さらにまた、会員の Grade 昇格を促進・支援することを活動計画に挙げ、エンドースを行った。その結果、本年、関西チャプタ発足第 1 号の Fellow 昇格者を輩出することができた。

#### h. LEOS (Lasers and Electro-Optics) Kansai Chapter

2007 年 4 月 19 日に LEOS Kansai Chapter 設立が認許され、2007 年 7 月 7 日に京都大学桂キャンパスにおいて、2007 年設立記念総会を開催した。来賓として松本紘 IEEE Kansai Section Chair、吉國裕三 LEOS Japan chapter Chair をお招きしてご挨拶をいただき、記念講演として「テラヘルツ技術の将来展望」(斗内政吉 教授 (大阪大学))、「メタマテリアル」(北野正雄 教授 (京都大学)) の 2 件をご講演頂いた。参加者 50 名の盛況な総会・講演会となった。更に、7 月 13 日に「ALL-OPTICAL CONTROL ON A CHIP」(Prof. Benjamin J. Eggleton (University of Sydney, Australia))、9 月 18 日に「Slow light in photonic

crystal waveguides」(Prof. Thomas F Krauss (University of St. Andrews, UK))、9月25日には「フォトニック結晶工学の進展と展望」(野田進 教授(京都大学))、「高出力レーザーで拓く高エネルギー密度状態の科学」(三間罔興 教授(大阪大学))の各講演会を開催した。10月31日には「フォトニクス技術の最先端」と題しDistinguished Lecturer (DL) 講演として「VLSI Photonics: Science and Engineering of Micro/Nano-Photonic Integration (LEOS Distinguished Lecturer Presentation)」(Prof. El-Hang Lee (INHA University, Korea))、および「Clocks, Combs and Optical Arbitrary Waveforms」(Prof. Erich P. Ippen (Massachusetts Institute of Technology, U. S. A.))の2件の最新技術のご講演を頂いた。11月30日には「フォトニクス・イノベーション・シンポジウム」と題して納富雅也 氏 (NTT) によるDL 講演「Control of Light by Photonic Crystals」を含む6件の最新光技術の講演会を開催した。その他、2007年11月1日～2日の「神戸大学フロンティア・テクノロジー・フォーラム 2007」を協賛すると共に、情報発信を行うべくLEOS Kansai chapter Webページを開設した。

URL <http://www.ieee-jp.org/section/kansai/chapter/leos/index.html>

## 7. 協賛／後援会議

2007年に協賛／後援を実施した会合、実施を決定した会合は下記の通り。

- The 2007 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)  
日時：2007年4月23日(月)～25日(水)  
場所：大阪大学中之島センター
- 2007 IEEE International Symposium on the Applications of Ferroelectrics (IEEE ISAF-2007)  
日時：2007年5月27日(日)～31日(木)  
場所：奈良県新公会堂
- 次世代ネットワークサービス講座  
日時：2007年6月～11月 (6回シリーズ (1回/月、5月～10月))  
場所：奈良市北部会館
- 平成19年電気学会基礎・材料・共通部門大会  
日時：2007年8月27日(月)～28日(火)  
場所：大阪大学コンベンションセンター
- システム制御情報セミナー2007  
日時：2007年10月11日(木)～10月12日(金)  
場所：立命館大学大阪オフィス
- The 2008 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)  
日時：2008年5月22日(木)～23日(金)  
場所：大阪大学中之島センター
- 2009 International Symposium on Electromagnetic Compatibility(EMC'09)  
(2009年環境電磁工学国際シンポジウム)  
日時：2009年7月20日(月)～7月24日(金)  
場所：国立京都国際会館

## 8. Region 10 Meeting

2007年3月24日(土)～25日(日)の日程でマレーシア・コタキナバルにて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より菊野 AC Chair、Region 10 Industry Liaison Coordinator として白川教授(兵庫県立大学)、Region 10 Section Chapter Support & Regional Chapter Coordinator として山本 AC Chair が出席した。R10 の活動報告と活動計画、支部運営に関する Tutorial、Training Session などが中心であった。

## 9. 情報の発信

### (1) 関西支部 Web ページ

Japan Council のサーバーをお借りして設置した下記ホームページでタイムリーに情報発信した。

URL <http://www.ieee-jp.org/section/kansai/>

### (2) 電子メールの利用

技術講演会、協賛会議等の案内をタイムリーに、電子メール・関西支部ホームページを用いて広く公告するなど情報発信に努めた。

### (3) News Letter

Gold 賞、学生研究奨励賞の募集をはじめ、関西支部に関する情報を News Letter 形式で4月と9月に提供した。

## II 2007年 会計報告

### 収入の部 予算案 (単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	5,113,890	5,330,949		
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,123,463	1,265,518	\$10,311.4@122.73 円/\$	6/19
・ Section Assessment 2007 前期 (同上)	3,773,791	4,058,067	\$35,950.28@112.88 円/\$	10/22
・ Section Assessment 2007 後期 (同上)	182,536	上記に含む		
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	34,100	-----		
・ The Nominate Senior Member Initiative (同上)	0	7,364	\$60 @122.73 円/\$	6/19
◆その他	761,920	1,443,291		
・ Section 支援金 (Gold Award 楯代)	60,000	60,000	JC より (2006 申請分)	1/23
・ Section 支援金 (学生研究奨励賞代)	320,000	320,000	JC より (2006 申請分)	1/23
・ Section 支援金 (関西支部メダル代)	331,920	331,920	JC より (2006 申請分)	1/23
・ Section 支援金 (Milestones 講演会)	0	92,800	JC より	12/28
・ Section 支援金 (Student Branch 支援)	50,000	-----		
・ Milestone Plaque 立替代金等		638,571	個人,近鉄,阪急,ホムロ	11/29,11/30, 12/5,12/7
◆利息	0	2,214		1/25,2/19,8/2 0
◆2006年からの繰越金	1,754,479	1,754,479		
合計	7,630,289	8,530,933		

Rebate 内訳 {\$2,000+\$4×(Fellow, Senior 会員数=176) + \$3×(Member, Associate, Student 会員数=1,867)  
+\$1.5×(Affiliate 会員数=146) + \$200×(Chapter 数=3)} ×1.10+\$75 (Chapter Bonus)  
※Chapter Bonus は SCS 分

### 支出の部 予算案 (単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	4,022,327	4,140,385		
・ Japan Council 拠出金	3,956,327	4,057,542		10/29
・ Chapter Rebate	66,000	82,843	(\$200×3+\$75(EDS) @122.73 円/\$)	
◆会合・AWARD 費	1,778,840	2,479,493		
・ 総会費	200,000	157,901	会場費, 資料代など	2/6
・ 講演会	90,000	120,000	講師謝礼金	6/28,11/27 1/19,2/6, 5/19,9/11, 12/18
・ 理事会費	230,000	143,355	会場代, 飲食代	5/18,10/12,1 2/4
・ Committee 会合費	400,000	483,156	MDC/SAC2 回、COC	2/6
・ Gold Award 費	61,000	124,780	楯代, 交通費	2/6,6/19
・ 学生研究奨励費	350,000	336,526	賞金, 交通費, 賞状代	1/10
・ 支部メダル費	331,840	331,840	造幣局	10/5
・ Student Branch 支援費	50,000	45,000	立命館大 SB	10/9,11/16
・ Milestone Plaque 代	66,000	704,135	Plaque 代(税、送料込)	11/27
・ Milestones 講演会諸費用	0	32,800	会場費	
◆事務経費	34,000	2,509		
・ 通信費	---	640	宅急便	2/2
・ 事務用品費	4,000	1,869	名札等	
・ 旅費	30,000			
◆雑費	40,000	17,399	手数料(為替, 振込)	
◆2008年への繰越金	1,755,122	1,891,147		
合計	7,630,289	8,530,933		



### Ⅲ 関西支部会員数

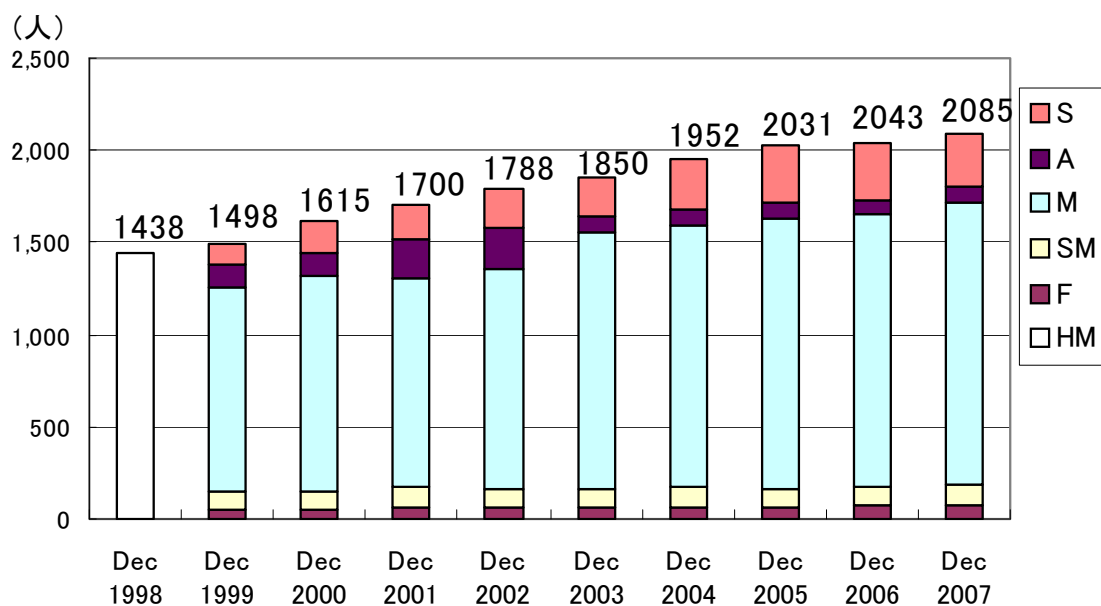
#### 1. グレード別会員数

2007.12 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	23
Fellow	F	51
Life Senior Member	LS	7
Senior Member	SM	109
Pending Senior Member	PS	0
Life Member	LM	33
Member	M	1,498
Pending Member	PM	0
Life Associate	LA	0
Associate	A	79
Student	S	285
<b>Total</b>		<b>2,085</b>
Affiliate of an IEEE Society	AF	149

上記集計では、Active 会員のみをカウントし、かつ、他のセクションへの移籍者等は含まない。

2007年12月においてAR（1年未満滞納者）は192名である。



## 2. ソサイエティ別会員数

2007.12 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	151
Broadcast Technology	BT-02	9
Antennas and Propagation	AP-03	60
Circuits and Systems	CAS-04	127
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	24
Vehicular Technology	VT-06	38
Reliability	R-07	0
Consumer Electronics	CE-08	28
Instrumentation and Measurement	IM-09	20
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	15
Computational Intelligence	CIS-11	98
Information Theory	IT-12	54
Industrial Electronics	IE-13	40
Engineering Management	EM-14	23
Electron Devices	ED-15	202
Computer	C-16	532
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	149
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	67
Communications	COM-19	217
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	32
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	23
Oceanic Engineering	OE-22	9
Control Systems	CS-23	94
Robotics and Automation	RA-24	95
Education	E-25	16
Professional Communication	PC-26	2
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	23
System, Man and Cybernetics	SMC-28	102
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	14
Social Implications of Technology	SIT-30	5
Power Engineering	PE-31	44
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	12
Magnetics	MAG-33	39
Industry Applications	IA-34	39
Power Electronics	PEL-35	35
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	139
Solid-State Circuits	SSC-37	165
Intelligent Transportation Systems	ITSS-38	17
Product Safety Engineering	PSE-43	5
Total		2,764

## IV 2008年関西支部役員・理事

### Section Officers

Chair:	松本 紘	(京都大学)
Vice Chair:	千葉 徹	(シャープ)
Secretary/Treasurer:	岩瀬 哲雄	(シャープ)

### 理事

MDC Chair:	山内 寛紀	(立命館大学)
NC Chair:	中村 行宏	(立命館大学)
SAC Chair:	尾上 孝雄	(大阪大学)
TPC Chair:	三好 正人	(日本電信電話)
AC Chair:	菊野 亨	(大阪大学)
COC Chair:	山本 幹	(関西大学)

### 理事 (Past Officers, Past Committee Chairs)

Past Chair:	小山 正樹	(奈良先端科学技術大学院大学)
Past Vice Chair:	谷岡 匠	(関西電力)
Past Secretary/Treasurer:	石田 文章	(関西電力)
Past MDC Chair	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
Past SAC Chair	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
Past TPC Chair	山本 誠一	(同志社大学)

### Region 10

Industry Liaison Coordinator:	白川 功	(兵庫県立大学)
----------------------------------	------	----------

### Committee Officers

#### a. Membership Development Committee :

Chair:	山内 寛紀	(立命館大学)
Secretary:	吉川 雅弥	(立命館大学)
Member:	赤木 永治	(住友電気工業)
	有本 和民	(ルネサステクノロジ)
	稲井 誠	(村田製作所)
	太田 有三	(神戸大学)
	勝山 豊	(大阪府立大学)
	酒井 英昭	(京都大学)
	坂手 勇次	(オムロン)
	大仲 清司	(松下電器産業)
	辰巳 昭治	(大阪市立大学)
	棚橋 成夫	(京セラ)
	田邊 信二	(三菱電機)

鈴木 龍太郎	(ATR)
林 成嘉	(ローム)
平松 達夫	(三洋電機)
林 栄治	(関西電力)
宮本 雅之	(シャープ)
三好 正人	(日本電信電話)

b. Nominations Committee :

Chair:	中村 行宏	(立命館大学)
Member:	和田 修	(神戸大学)
	山本 裕	(京都大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	片桐 滋	(同志社大学)
	植村 俊亮	(奈良先端科学技術大学院大学)

c. Student Activities Committee :

Chair:	尾上 孝雄	(大阪大学)
Member:	宮本 伸一	(大阪大学)
	小林 和淑	(京都大学)
	沼 昌宏	(神戸大学)
	芳賀 博英	(同志社大学)
	松本 健一	(奈良先端科学技術大学院大学)
	近藤 克哉	(兵庫県立大学)
	山崎 勝弘	(立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair:	三好 正人	(日本電信電話)
Vice Chair:	澤井 秀文	(情報通信研究機構)
Secretary:	岩井 誠人	(同志社大学)

e. Awards Committee :

Chair:	菊野 亨	(大阪大学)
Member:	朝香 卓也	(京都大学)
	飯田 元	(奈良先端科学技術大学院大学)
	石浦 菜岐佐	(関西学院大学)
	太田 能	(神戸大学)
	大橋 正治	(大阪府立大学)
	岡 育生	(大阪市立大学)
	黒江 康明	(京都工芸繊維大学)
	近藤 晴房	(三菱電機)
	野口 拓	(立命館大学)
	棟安 実治	(関西大学)
	山田 晃久	(シャープ)

※メンバー追加を調整中。

f. Chapter Operations Committee :

Chair:	山本 幹	(関西大学)
Member:	浅田 稔	(大阪大学)
	栗井 郁雄	(龍谷大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	石尾 秀樹	(大阪工業大学)
	小野寺 秀俊	(京都大学)
	小南 昌信	(大阪電気通信大学)
	中津 良平	(関西学院大学)
	中村 行宏	(立命館大学)
	西村 正	(ルネサステクノロジ)
	野田 進	(京都大学)
	山口 聖司	(松下電器産業)
	吉田 正樹	(大阪電気通信大学)

## V 2008 年 Kansai Chapter 役員

### EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter :

Chair:	西村 正	(ルネサステクノロジ)
Vice Chair:	大村 泰久	(関西大学)
Secretary:	井上 靖朗	(ルネサステクノロジ)
Treasurer:	松尾 直人	(兵庫県立大学)

### SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter :

Chair:	山口 聖司	(松下電器産業)
Vice Chair:	吉本 雅彦	(神戸大学)
Secretary:	藤田 智弘	(立命館大学)
Treasurer:	蕪尾 英之	(松下電器産業)

### CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter :

Chair:	小野寺 秀俊	(京都大学)
Vice Chair:	石浦 菜岐佐	(関西学院大学)
Secretary:	橋本 昌宜	(大阪大学)
Treasurer:	一宮 敬弘	(松下電器産業)

### APS (Antennas and Propagation Society) Kansai Chapter :

Chair:	小南 昌信	(大阪電気通信大学)
Vice Chair:	小川 晃一	(松下電器産業)
Secretary:	出口 博之	(同志社大学)
Treasurer:	岩井 浩	(パナソニックエレクトロニクス株式会社)

### COMS (Communications Society) Kansai Chapter :

Chair:	石尾 秀樹	(大阪工業大学)
Vice Chair:	熊澤 宏之	(三菱電機)
Secretary/Treasurer:	岡田 実	(奈良先端科学技術大学院大学)

### CS (Computer Society) Kansai Chapter :

Chair:	中村 行宏	(立命館大学)
Vice Chair:	本原 章	(松下電器産業)
Secretary:	青木 直明	(松下電器産業)
Treasurer:	越智 裕之	(京都大学)

### MTTS (Microwave Theory and Techniques Society) Kansai Chapter :

Chair:	栗井 郁雄	(龍谷大学)
Vice Chair:	伊東 健治	(三菱電機)
Secretary:	島崎 仁司	(京都工芸繊維大学)
Treasurer:	河合 正	(兵庫県立大学)

LEOS (Laser and Electro-Optics Society) Kansai Chapter :

Chair:	野田 進	(京都大学)
Vice Chair:	伊東 一良	(大阪大学)
Secretary:	杉立 厚志	(三菱電機)
Treasurer:	加藤 友章	(日本電気)

SPS (Signal Processing Society) Kansai Chapter

Chair:	山本 誠一	(同志社大学)
Vice Chair:	中村 篤	(日本電信電話)
Secretary/Treasurer:	調整中	

## VI 2008年 関西支部活動計画

### 1. 総会

2008年2月28日(木) 15:00~17:30の予定で、2008年定例総会を実施する。

### 2. 技術講演会

Technical Program Committeeの企画により、講演会を実施する。

### 3. 理事会

第1回理事会 1月 24日 京大会館

- ・2008年総会について
- ・2007年会計報告について
- ・2008年活動計画について
- ・WIE活動について

第2回理事会 2月 28日 京大会館

- ・2008年総会について

※2008年中に、さらに数回の理事会を開催する予定である。

### 4. 関西支部Gold Award

2007年に引き続き、Award受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。但し、今年から表彰対象を①「支部活動への貢献」、②「業績面の貢献」、③「技術面の貢献」の3つのカテゴリーとし、最大各カテゴリー1名ずつ(最大合計3名)とする。

### 5. 関西支部学生研究奨励賞

2007年に引き続き、学生研究奨励賞受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

### 6. 関西支部メダル

2007年に引き続き、新Senior Memberに対して関西支部メダルを授与する。

### 7. 各Committee活動計画

#### a. Membership Development Committee

- (1)2008年度も20名程度の新Senior Memberを増やすことを目標にし、前年度と同様に会員の増加に結びつける。
- (2)Senior Memberに昇格するときに必要なリファレンスのテンプレートを作成するなどして、Senior Memberに昇格しやすい環境を整える。
- (3)前年度と同様にStudent Activity Committeeと連携を深め、学生会員の増加につなげる。

#### b. Nominations Committee

- (1) 2007年と同様に、Membership Development Committeeと共同してSenior Memberだけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。
- (2) Fellow候補者をできるだけ多くNominateする。Fellow Nominationに関して、2007年と同一手順で実行の予定。併せて、一般Memberに対し、Senior Memberへのupgradeを勧める。



### c. Student Activities Committee

#### (1) Student Branch の設立

昨年引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。既設の大阪大学、立命館大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学に加え、新設される兵庫県立大学でのスムーズな立ち上げを援助し、神戸大学、大阪府立大学他を対象に Student Branch の設立を目指す。

#### (2) 学生会員活動の活発化

学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。既設の 5 大学 Student Branch の協力により、Student Branch が設置されていない大学に対しても、学生会員への積極的なサービス提供ならびに会員増強のプロモーションを図る。関西支部の 5 大学 Student Branch を中心に、交流会を引き続き開催し、Student Branch 間の交流を深める。

#### (3) Region 10 Student Congress 2008 (1月28日～30日、インド・マドラス) に 関西セクション内学生支部から学生を派遣。

#### (4) 表彰および研究奨励

2004年から開始した IEEE 関西支部学生研究奨励賞を(Awards Committee と共同する形で)継続して企画し、優れた英文論文を発表した学生を表彰し、学生会員の研究を奨励する。

#### (5) 他支部の学生活動との連携

国内に設立されている他の 8 支部の学生活動との情報交換、連携により関西支部における学生会員活動のより一層の深化を図る。

#### (6) 関西支部配下の Student Branch の 2008 年の体制は以下の通りである。 (学年は 2008 年 4 月時点の予定)

##### 1. 大阪大学

Counselor:	尾上 孝雄	(大阪大学 教授)
Mentor:	岡田 圭介	((株)ルネサステクノロジ)
Chair:	橋本 亮司	(博士 2 回生)
Vice Chair:	新開 健一	(博士 1 回生)
Treasurer:	濱本 浩一	(修士 2 回生)
Secretary:	B. A. Hirantha Sithira Abeysekera	(博士 2 回生)

Website URL: <http://www-ise2.ist.osaka-u.ac.jp/ieee/>

##### 2. 京都大学

Counselor:	小野寺 秀俊	(京都大学 教授)
Mentor:	近村 啓史	(松下電器産業(株))
Chair:	神田 和士	(修士 2 回生)
Vice Chair:	今川 隆司	(修士 1 回生)
Treasurer:	服部 幸市	(修士 1 回生)
Secretary:	木村 和紀	(修士 1 回生)

Website URL: <http://ieee.kuee.kyoto-u.ac.jp/>

### 3. 立命館大学

Counselor:	山崎 勝弘	(立命館大学 教授)
Mentor:	川上 善之	(松下電器産業(株))
	多田 章	((株)ルネサステクノロジ)
Chair:	桑原 弘明	(修士 2 回生)
Vice Chair:	飯田 香	(修士 2 回生)
Treasurer:	井出 純一	(修士 1 回生)
Secretary:	寺川 剛史	(修士 1 回生)

Website URL: <http://www.ieee.se.ritsumei.ac.jp/>

### 4. 奈良先端科学技術大学院大学

Counselor:	飯田 元	(奈良先端科学技術大学院大学 教授)
Mentor:	阪井 誠	(SRA 先端技術研究所)
Chair:	上野 秀剛	(博士 3 回生)
Vice Chair:	亀井 靖高	(博士 2 回生)
Treasurer:	石田 響子	(修士 2 回生)
Secretary:	松本 真佑	(博士 1 回生)

Website URL: [http://se.naist.jp/sb/index\\_ja.html](http://se.naist.jp/sb/index_ja.html)

### 5. 兵庫県立大学

Counselor:	畑 豊	(兵庫県立大学 教授)
Mentor:	(調整中)	
Chair:	池田 侑一郎	(修士 2 回生)
Vice Chair:	大芝 拓真	(修士 2 回生)
Treasurer:	山口 哲人	(修士 2 回生)
Secretary:	角田 洋平	(修士 2 回生)

#### d. Technical Program Committee

2007 年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。2008 年は 5 回以上の企画・開催を目指す。従来から継続している、大阪・京都地区での講演会の開催、会員からの講演会の提案受付、シリーズ講演会の開催などに積極的に取り組む。

#### e. Awards Committee

2007 年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。なお、評価基準である関西支部への貢献の内訳をより明示的に表すことを目的に、賞の趣旨を改めている。この改訂についてはホームページなどで会員に広く広報する。学生研究奨励賞についても 2007 年に引き続き、受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。なお、会員増強の目的に照らして、応募者の資格を改訂し、より柔軟に対応出来るようにしている。この改訂についてはホームページなどで会員に広く広報する。

f. Chapter Operations Committee

2007年に新設された Chapter を含め、既に関西支部に設立された Chapter で活動状況について横断的に情報共有を行い、各 Chapter の活動をさらに活性化させる。具体的には、COC委員会における各 Chapter 活動報告による情報共有、Distinguished Lecturer 制度の説明、Japan Council の支部 Chapter 支援費の説明などを行う。さらに、IEEE 本部へ行う報告や Chapter 維持条件の説明を通して、定常活動の維持について各 Chapter に再確認する。また、今後関西支部で新設を予定する Chapter に対し、その新設に必要な情報の提供、既存 Chapter との情報交換などを通じ、新設に向けた支援を展開する。

8. **Kansai Chapter 活動計画**

a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

2008年も前年度に引き続き、国際会議、技術講演会を中心に積極的に活動を展開する。関西発の国際会議である”International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFEDK)”は、5月22-23日に大阪大学中之島センターにおいて主催予定であり、定例の関西コロキウム電子デバイスワークショップも10月に開催の予定である。デバイスの研究開発動向を知る上で重要な国際学会であるIEDMの報告会は2008年も1月25日に関西大学100周年記念館開催すると共に、Distinguished Lecturer を招いての技術講演会 (DL Meeting) も前年度に引き続き開催する予定にしている。

この他、関西地区で開催される各種会議・研究会にも積極的に協賛し、引き続き会員獲得にも努めていく計画である。

b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2008年も技術講演会を中心に活動を展開し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。

7月頃と11月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名なVLSI設計関連の技術者を招く予定である。また、関西地区等で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得に努める計画である。

c. CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2008年も2007年と同様に、技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。著名な国外研究者が集まる国際会議やプログラム委員会の開催に合わせて、講演会を開催することを検討している。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、学会活動への貢献と会員獲得に努める計画である。

d. APS (Antennas and Propagation Society) Kansai Chapter

関西地区におけるアンテナ・伝播の研究分野を活性化して、新しい研究の進展、若手の育成や交流促進の場をつくりだすことを目標とする。

2008年4月17日(木)に開催予定の電子情報通信学会アンテナ伝播研究会(大

阪電気通信大学) では IEEE AP-S 特別講演会を主催する予定である。また、AP-S 会員の拠点として、会員のプラスになる活動や行事を積極的に実施し、若手会員獲得につとめるとともに関連 Chapter や学会と連携をはかる計画である。

e. COMS (Communications Society) Kansai Chapter

2008 年初めに chapter の発足に係る初会合を行なう。また、技術講演会を数回開催するほか、関西地区等で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得に努める。技術講演会は、学生や若手研究者を主な対象として計画し、会員獲得につなげることを目指すとともに、Chapter の活動強化を図る。

f. CS (Computer Society) Kansai Chapter

2008 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。

著名な国外研究者が集まる学会の開催に合わせて、講演会を開催することを検討している。1月28日(月)には、ASP-DAC の開催に合わせて、京都大学にて、Chapter 設立記念講演を開催 (IEEE 関西支部との共催) する予定である。設立記念講演では、Prof. Nikil Dutt(UC Irvine)に "Concurrent Exploration of Memory and Communication Architectures for MPSoCs" と題するご講演と、富田眞治教授 (京都大学大学院) に「マイクロプロセッサアーキテクチャの変遷と到達点」と題するご講演を頂く予定である。

また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得に努める計画である。

g. MTTS (Microwave Theory and Techniques Society) Kansai Chapter

2008 年も技術講演会、若手技術者交流会、国際会議発表者のための練習とアドバイスの会を中心に活動し、また 2007 年 Fellow 昇格者の記念講演会も予定している。さらにマイクロ波技術に関する基礎講座開催も新たに企画する。Fellow および Senior Member への昇格候補者支援を引き続き行いながら、Student Member / Gold Member の獲得を狙いとする新しい Committee の設立を企画する。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップを積極的に共催／協賛し、学会活動への貢献と会員獲得に努める計画である。

h. LEOS (Lasers and Electro-Optics) Kansai Chapter

2008 年も 6 回以上の技術講演会の企画・開催を目指す。既に 2008 年 1 月 28 日 - 1 月 29 日の技術講演会を予定している。さらに IEEE Distinguished Lecturer による講演会等の企画にも取り組む。

i. SPS (Signal Processing Society) Kansai Chapter

(活動計画策定中)

## 9. Affinity Group

Women in Engineering (WIE) Affinity Group の設立を目指した取組みを推進する。

## 10. 協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。

## VII 2008年 関西支部予算案

### 収入の部

(単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	5,256,970	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,264,489	\$11,495.35 (2007.12 会員数より推定)
・ Section Assessment 2007 前期 (同上)	3,954,531	\$35,950.28 (2007 年実績)
・ Section Assessment 2007 後期 (同上)	上記に含む	(2007 年実績)
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch (同上)	31,350	\$285.00 (2007.12 会員数より推定)
・ the Nominate a Senior Member Initiative (同上)	6,600	\$60 (2007 年実績)
◆その他	985,249	
・ Section 支援金 (Gold Award 楯代)	120,000	JC より (2007 申請分)
・ Section 支援金 (学生研究奨励賞代)	416,000	JC より (2007 申請分)
・ Section 支援金 (関西支部メダル代)	333,680	JC より (2007 申請分)
・ Section 支援金 (Student Branch 支援費)	50,000	
・ Milestone Plaque 立替代金等	65,569	大阪大学より
◆2007 年からの繰越金	1,891,147	
合計	8,133,366	

110 円/\$として計算

Rebate 内訳 {\$2,000+\$4× (Fellow, Senior 会員数=190) + \$3× (Member, Associate, Student 会員数=1,895) +\$1.5× (Affiliate 会員数=149) +\$200× (Chapter 数=8)} ×1.10 + \$200 (Section Bonus) ※会員数は、2007.12 月現在

### 支出の部

(単位：円)

◆IEEE Entity 間勘定	4,130,531	
・ Japan Council 拠出金	3,954,531	\$35,950.28 (@112.88) (2007 年実績)
・ Chapter Rebate	176,000	\$200.00×8
◆会合・AWARD 費	1,864,680	
・ 総会費	200,000	会場費、資料代など
・ 講演会	90,000	講師謝礼金
・ 理事会費	230,000	会場代、飲食代
・ Committee 会合費	400,000	MDC/SAC、COC
・ Gold Award 費	125,000	楯代、交通費
・ 学生研究奨励費	436,000	賞金、賞状代、交通費
・ 支部メダル費	333,680	造幣局
・ Student Branch 支援費	50,000	立命館大学 English Presentation Competition
◆事務経費	35,000	
・ 事務用品費	4,000	名札等
・ 旅費	30,000	
・ 通信費	1,000	宅急便等
◆雑費	40,000	為替手数料, 振込手数料など
◆2009 年への繰越	2,063,155	
合計	8,133,366	

110 円/\$として計算

## VIII 関西支部 Bylaws

### IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

#### **ARTICLE I --- Name and Territory**

##### Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

##### Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

#### **ARTICLE II --- Officers**

##### Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

##### Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

##### Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

##### Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

#### **ARTICLE III --- Standing Committee**

##### Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee
- Awards Committee
- Chapter Operations Committee

##### Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

### Section3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

### Section4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

## **ARTICLE IV --- Management**

### Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

Standing Committee Chairs  
representatives of Chapters,  
such other members appointed by the Section Executive Committee,  
and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

### Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

### Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

### Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

### Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

## **ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers**

### Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

### Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

### Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.



Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**ARTICLE VI --- Business Meeting**

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

**ARTICLE VII --- Finances**

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

**ARTICLE VIII --- Amendments**

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部  
Technical Program Committee

1. 受付、承認の手続き

- (1) 受付：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいて TPC (Technical Program Committee) に提案する。  
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
  - ・講演者氏名、所属
  - ・講演予定日時、場所
  - ・講演予定内容 (タイトル、アブストラクト) (英文可, 200-300words)
  - ・講演者略歴 (英文可, 100-300words)
  - ・IEEE 会員へのメリット (会員への講演の関連性、推薦のことば)
  - ・推薦者氏名、所属、(IEEE 関西支部役職)
  - ・担当者氏名・連絡先 (tel, fax, e-mail)
  - ・共催とする場合の共催組織名
- (2) 承認：
  - (i) TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。
  - (ii) IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。
- (3) 企画：支部で OK ができれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。
- (4) 案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布 (東京支部) を依頼する。
- (5) 参加受付：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。
- (6) 会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付スタッフを出す。
- (7) 当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは (共催先と相談して) 柔軟に運用する (なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す)。  
参加者には名簿に記入していただく。(参加者数の把握とデータベース化)
- (8) 費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す。  
ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。
- (9) 事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

2. Technical Program Committee Member

Chair: 三好 正人 (日本電信電話 miyo@cslab.kecl.ntt.co.jp)  
Vice Chair: 澤井 秀文 (情報通信研究機構 sawai@nict.go.jp)  
Secretary: 岩井 誠人 (同志社大学 iwai@mail.doshisha.ac.jp)

2008 年 IEEE 関西支部連絡先

〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号  
シャープ株式会社 広報室(社史編纂グループ) 内  
TEL : 06-6625-0915 FAX : 06-6625-0916  
e-mail : sec-kansai@ieee-jp.org  
Web URL : <http://ewh.ieee.org/r10/kansai/>  
<http://www.ieee-kansai.org/>